

# 日韓共同シンポジウム

2013年10月23日（水）13:30~17:30

## 3.11以後の人間と社会

### 研究報告

日本律令国家の天災異変と政策の転換

宋 浣範（高麗大学校日本研究センターHK教授）

3.11大震災後の島嶼社会における防災

孟 憲晨（鹿児島大学大学院博士後期課程島嶼政策）

韓国の公害病問題と日韓関係

鄭 有景（ソウル市立大学講師）

地域防災における災害情報伝達の合理性に関する社会学的試論

亀田晃一（鹿児島大学大学院博士後期課程修士・MBC南日本放送気象予報士）

被災地における復興支援と人類学の貢献可能性に関する一考察

兼城糸絵（鹿児島大学法文学部准教授）

日本震災学の成立と災害ガバナンスの変容

金 映根（高麗大学校日本研究センターHK教授）

主催：鹿児島大学大学院人文社会科学部  
高麗大学校日本研究センター

共催：鹿児島大学地域防災教育研究センター

場所：鹿児島大学 郡元キャンパス 総合教育研究棟2階201講義室  
市電「工学部前」徒歩5分

お問い合わせ：

鹿児島大学大学院 地域政策科学専攻事務室

〒890-0065 鹿児島市郡元1丁目21番30号

Tel : 099-285-3573

E-mail : lehdoc@leh.kagoshima-u.ac.jp

